

# リベラリズムの臨界点

## トランプ時代の政治・文化・宗教



トランプ 2.0 の荒波に揺れる 2025 年の現状は、アメリカのいかなる力学によって形成されたのか。歴史的な転換の現場をアメリカ本国にて目撃してこられた講師陣をお迎えし、近年のリベラリズムとそれに対する反動の諸相について、民主党政治の限界、社会運動の果たす役割、キリスト教ナショナリズムの台頭など、多角的なアプローチを試みる。

報告

庄司 香（学習院大学法学部政治学科教授）

小森 真樹（武蔵大学人文学部英語英米文化学科准教授）

加藤 喜之（立教大学文学部教授・アメリカ研究所所員）

司会

加藤 喜之（立教大学文学部教授・アメリカ研究所所員）

舌津 智之（立教大学文学部教授・アメリカ研究所所長）

2025 年 7 月 12 日（土）14：00～16：30  
池袋キャンパス 14 号館 D201 教室

右の QR コードからお申込ください（定員 先着 250 名）

